

薬用作物産地支援 栽培技術研修 九州会場

研究実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

研修実施場所： 日置市中央公民館 研修室2・3(鹿児島県日置市伊集院町郡1丁目100)

実施時期： 12月8日(火)～9日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
12月8日 (火)	13:20-14:00 (40分)	13:10 現地集合 場所:伊集院駅前(JR九州鹿児島本線) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	14:00-15:30 (90分)	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「鹿児島県薬草生産組合」ミシマサイコ圃場における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	東 芳男	鹿児島県薬草生産組合 組合長
	15:30-16:10 (40分)	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:30-17:30 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	山口 能宏	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
12月9日 (水)	9:00-10:30 (90分)	[講義] 薬用作物の栽培にあたって(仮題)	地域で有望なミシマサイコ、キキョウ等の栽培技術について解説する。	飯田 修	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター 客員研究員
	10:40-12:10 (90分)	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質化、低コスト化および生産の安定化を可能とする技術開発の推進を目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	川嶋 浩樹 月足 公男 吉田 勝一郎	農研機構西日本農業研究センター 畑作園芸研究領域 施設野菜生産グループ長 佐賀県農業試験研究センター 三瀬分場 山間農業研究担当係長 宮崎県総合農業試験場 薬草・地域作物センター 主任研究員
	12:10-13:10	昼 食			
	13:10-14:40 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40-15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	